

SCOUTING 茨城

1999年・6月☆茨城県連盟広報委員会発行

2地区韓国へ行く

韓国姉妹地区との交流を始める

2地区副コミッショナー 吉川 勲



2地区竹本委員長、ソウル南部連盟安事務局長

韓国スカウト交流の成功

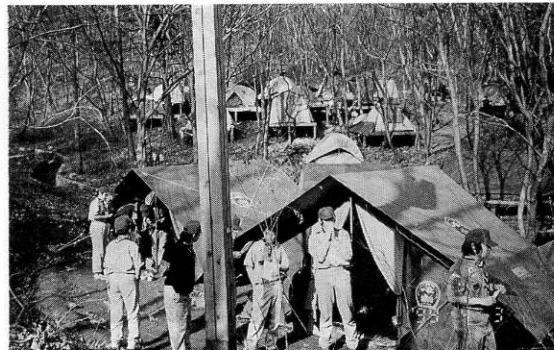
第2地区では、去る3月31日(水)から4月5日(月)にかけて5泊6日の日程で大韓民国ソウル市を訪れ、ソウル南部連盟の松坡(ソンバ)地区と交流キャンプを行いました。

「第1回水松(ス・ソン)スカウト交流キャンプ」の名称で、「海を越える友情が未来を築く」をテーマに実施されたこの国際交流には、ベンチャースカウトを中心に43名のスカウトと、それを支援する9名の引率指導者および本部要員として8名、計60名が参加しました。迎えてくれた松坡地区からは、カブスカウトからシニアスカウト、そしてガールスカウトも加わって総勢150余名が参加しています。

交流キャンプの会場となったのは、ソウル中心部から車で40分ほど南に行ったコンジャンという場所にある、韓国連盟の「中央野営場」でした。この野営場は、山の斜面にサイトをいくつも設置しており、しかもカブスカウトなどの宿泊のような巨大な常設テントも多数用意された設備の整ったキャンプ場でした。キャンプ場整備にあたっては、自然の景観をできるだけ損なわないように配慮されていて、落葉樹の林の中で自然を

満喫できる素晴らしい野営場でした。

スカウト同士の交流キャンプは正味2泊3日でしたが、言葉の壁をものとせず、住所やバッジなどの交換も盛んに行われ、スカウト達にとっては、とても楽しいキャンプ生活だったようです。



ボイスカウト韓国連盟

中央野営場(コンジャン)

「チャンチャ乗り」

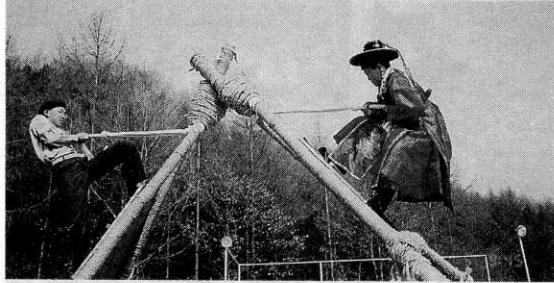
日本と韓国は学校制度などがとてもよく似ていますが、あいにく春休みが1ヶ月ほどずれています。日本では3月下旬から4月上旬までの2週間ほどが休業期間ですが、韓国では3月から新学期が始まります。今回の交流キャンプは、韓国のスカウトにとって学年の最中の計画になりますから、準備に相当苦労したのではないかと思われます。

しかし、そんな中で実に魅力的な交流プログラムを準備していただきました。とりわけ素晴らしいのが、韓国伝統芸能(?)の「チャンチャ乗り」でした。これは日本で言えば「けんか神輿」のようなものです。ただし非常にゆったりと展開される儀式的色彩の強いものです。乗り物は、丸太を3角形の形に組んで縛り、「神輿」ならお社があるべき位置に手綱を持った少年を乗せ、

それを力の強い年長者がかつぎます。数回儀礼的な顔合わせをした後、三角の頂点の位置でお互いの乗り物を組み合わせそれを双方から押し上げます。そしておそらくは、上に乗っている少年がバランスを崩した方が負けるというような、儀礼的に優劣をつけるものようです。

今回のプログラムでは、2地区が勝ちました。遠來の客に勝ちを譲ってくれたものと考えています。このプログラムが素晴らしかったのは、ただ優劣の問題ではなく、実際に儀式として行われる時の本格的な衣装を用意していただけたことです。

このプログラムばかりでなく、楽器の演奏を行うプログラムでも、本物の伝統楽器を用意していただき、実際にスカウトがそれを演奏できました。たしかに、この交流に備えて韓国語も少しお勉強しましたし、歴史や文化の講義も聞きました。しかし「行うことにより学ぶ」というスカウティングの基本的方法を実践できたことは、スカウトにとっても、この交流キャンプを準備した地区役員にとっても望外の喜びでした。



チャンチャ乗り(交流プログラム)

「姉妹地区協定」

今回2地区では、韓国連盟の松坡地区と「姉妹地区協定」を交わし、永続的な交流を始めることになりました。地区として外国と「姉妹協定」を結ぶのは、おそらく、これが日本連盟でも最初の事例になるそうです。茨城県連盟としても、永年スカウトの海外派遣計画を進めてきましたから、これは大きな喜びです。

スカウトの海外旅行に関してはいくつかの方法があります。教育の面からいえば、「国際理解」「国際交流」「国際協力」「国際貢献」と段階的に進歩するわけです。2地区の教育委員会で企画された時点では、とにかく海外に行って交流キャンプをしようというものでした。一気に「国際交流」を行おうと目論んだのです。

当時の竹本地区委員長が企画してから半年ほどして日連の「国際紹介状」をいただき、竹本地区委員長以下、大場・吉川の4名が韓国連盟を訪問し、交流相手地区的紹介を依頼したときも「姉妹協定」までは考えませんでした。韓国連盟ではちょうど新築直後



姉妹地区協定書交換(コンジャン野営場)

成・竹本両地区委員長 H.11.4.3日

の引越し中でしたが、事務総長以下国際部のスタッフに丁寧に迎えていただき、感謝したものでした。

その後はE-mailとFAXを使って連絡を取り合いました。秋になって松坡地区とプログラムの具体的な詰めを行う課程で何となく「協定」を結ぶような話になり、12月になって、竹本・吉川・西野・神原の4名が打ち合せのために再びソウルを訪問したときには既定に事実のような扱いになりました。

この訪問の時には、松坡地区役員が空港まで出迎えてくれ、3日間の滞在中は、打ち合わせのときも野营地の視察の時も、役員総出で真剣に検討することができました。松坡地区には顧問各のリー・ポンサン先生という方がおられて、この方に日本語の通訳をしていただけたことは幸いでした。話は実に順調に進みました。「姉妹地区協定」が交流の前提になりました。

2月には、松坡地区からリー先生・リー・サンジュ地区事務長・クォン地区コミッショナー・パク地区役員の4名が水戸を訪問されました。2地区でも地区役員総員で歓迎し、少なくともその時点では、お互いの理解は随分深まったものと考えられます。その結果、地区役員同士ではどんどん交流の企画が煮詰まり、まだ第1回の交流も終わらないうちから、第2回のスカウト交流計画が始まることになりました。



統一展望台「あれに見えるは38°線~」

この8月には、松坡地区から30名の指導者を含めた150余名を迎えて「第2回松水（ソン・ス）スカウト交流キャンプ」を実施する予定です。今後は、2年に1度は派遣団を交換しあい、その間も、個人のレベルでホームステイ・プログラムなどを展開できると考えています。

事前研修

今回の交流キャンプの成功は、事前研修プログラムの成功といえます。参加申し込みをするスカウトが多くいたことも予想でしたが、指導者の申し込みも多くありました。郡司隊長に派遣隊の取りまとめの任をお願いすると、若手の指導者が熱心に手足となって働き、ベンチャー中心のスカウトを引っ張って交流計画を成功に導いたのでした。

副長4名は、西野・神原の両副長を中心に、自ら韓国語・韓国事情を学びながらスカウトを指導し、班単位でも個人レベルでもはっきりしたプログラム意識をもたせることに成功しています。

事前研修の中心は韓国語の訓練でした。これには、地区内の団委員である羽生氏が尽力してくださいました。12月の派遣団結団式当日から、多数の韓国関係の資料と自作の韓国語学習用の資料を用意され、3月の直前の野営研修まで数度にわたり、韓国理解のための研修の講師役を引き受けいただきました。訪韓中は通訳としても奉仕していただきました。

さらに、ネイティブ・インフォーマントとして、韓国からの留学生にも研修の都度協力をお願いし、快く引き受けていただけたことも、今回の成功につながったものと思われます。

成田を飛び立ったスカウト達は、自分の名前をハングルで書くことができたし、日韓関係についてもある程度は知識を持っていたし、プログラム用に韓国語で韓国の民謡を覚えていました。こういった事前の周到な準備が国際交流には欠かせないものであり、準備したからこそ成功できたといえます。



テコンドー演技(キャンプファイアの出し物)

日 程

3月31日	5時 集合 9時 成田空港出発 12時 金浦空港到着 14時 統一展望台見学 17時 ハンターキャンプ場（泊）
4月1日	『韓國民族村』『独立記念館』見学 17時 ハンターキャンプ場（泊）
4月2日	ソウル市内の班活動 17時 ハンターキャンプ場（泊）
4月3日	午前 『戦争博物館』見学 午後 コンジャン野営場 17時 ハンターキャンプ場（泊） 『姉妹地区協定書』署名式 『交流キャンプ』開会式 コンジャン野営場（泊）
4月4日	終日 交流プログラム 17時 コンジャン野営場（泊）
4月5日	午前 交流プログラム 『交流キャンプ』閉会式 午後 帰国

「国際理解」

日韓には、戦争をはさんで暗い過去の記憶があります。今回の交流では、せめてスカウトには過去に振り回されないで、お互いに理解し合い、交流してほしいという地区としての展望がありました。

日韓の悲しい過去を展示してある『独立記念館』には日本人を案内するガイドが嫌がる場所がありますが、今回そのコーナーでスカウトがとても素朴に色々と質問をして展示内容を理解しようとしたそうです。とても素直な質問だったそうで、ガイドが感心してよろこんでいました。

国際理解ということは美しい表現です。しかし、真に理解するとなると難しいものがあります。今回の派遣での大きな収穫は、直接現地を経験することによって、スカウトは実際に多くのことを理解しているらしいということです。

スカウトに対しては、妙な先入観の入った百万の解説をするより、若い感性で実物を見せることの方がはるかに教育的な効果があるのでしょう。

最後に

今回の「第1回水松スカウト交流キャンプ」実施に当たっては、ボーイスカウト日本連盟国際部・ボーイスカウト茨城県連盟をはじめ、多くの方々のご協力をいただきました。ありがとうございました。

また、地区内にあっては、事前研修に尽力された地区の方々、スカウトとともに韓国でキャンプされた本部要員の方々、そしてスカウトを引率されたローバーを含めた指導者の方々、ご苦労様でした。夏の交流もがんばって下さい。

（参考）スカウトと八ヶ岳



（参考）スカウトと八ヶ岳
（白）歓迎式典にて記念撮影

ボーイスカウト茨城県連盟スカウト環境行動スローガン

今、地球は・・・・

温暖化、オゾン層の破壊、酸性雨、熱帯林の減少、野生生物の減少等自然環境問題が顕在化しています。私たちに多くの恵を与えてくれる、この地球の美しさ、素晴らしいがいつまでも保たれるよう、今、私たちスカウト一人一人が、行動するときです。

私たちスカウトにできること

地球環境を保護するために、私たちスカウト一人一人ができることは何なんだろう！

それは、スカウト一人一人がいかに人間と地球環境との関わりについての理解と認識を深め、責任ある行動を取りながら、地球環境の保護のために積極的に努力することです。

茨城県連盟としては、スカウト一人一人が、地球環境問題に関して『技能や思考力、判断力を身に付ける』『主体的に参加する』『責任ある行動が取れる態度を身に付ける』ことを目的として、地球環境保護を推進することになりました。

（参考）スカウト環境スローガン
—まず、はじめよう地球を守る心と心—

寒さのせいか、現地で体長を崩したスカウトがでて、改めて安全管理の重要性を認識させられました。旅行に随行していただいた「在日韓国民団」の方の協力によって対応はできましたが、今後の課題となります。

「第2回水松スカウト交流キャンプ」は、平成11年8月6日(金)～9日(月)の3泊4日の日程で、水戸市の「少年自然の家」会場に実施予定です。

関心をお持ちのかたは、2地区までお問い合わせ下さい。広く参加希望者を受け入れる予定です。

私たちスカウトは、自然の恵みに感謝し、豊かで美しい地球を守るために、自然にやさしいスカウティングを実施します。

1. かけがえのない水と空気を汚さないようにします。
2. すべての樹木を大切にします。
3. すべての動物・植物の命を大切にします。
4. 山、海、川、湖にゴミを捨てないようにします。
5. 家庭での省エネルギーに努めます。
6. 資源を大切にし、再利用、再生利用に努めます。
7. 自然に感謝し、地球に優しい野外活動を実践します。
8. 世界環境保護バッジの取得に努めます。

宣言日：平成11年5月30日

宣言者：日本ボーイスカウト茨城県連盟



（参考）入賞・入選者のみなさん

日本ボーイスカウト
茨城県連盟

『環境スローガン』入選作

平成11年5月30日

賞	スローガン	所属団	隊	氏名
最優秀賞	まずははじめよう 地球を守る 心と心	つくば1	B S	柏原 一仁
優秀賞	自然はね スカウトみんなで守ろうよ！	石岡 1	B S	羽鳥 旭
優秀賞	山の小さな生き物もみんな地球を守ってる	石岡 2	B S	堤 友浩
優秀賞	自然を 壊すも守も ぼくらの力	石岡 1	B S	山崎 裕介
優秀賞	目を覚ませ！汚れた地球が 泣いている	石岡 2	B S	坂本 佳謙
入選	山川も みんなで努力 きれいでいたね！	石岡 1	B S	羽鳥 旭
入選	CO ₂ 車やめて ハイキング！	石岡 1	B S	〃
入選	みどりはね いつまでみどりで いないんだ	石岡 1	家族	羽鳥 嘉子
入選	きれいな湖 きれいな山 それが茨城のスマートネス	石岡 1	家族	〃
入選	私達は忘れない 自然へのスマートネス	石岡 1	家族	〃
入選	ダイオキシン ポクもすてなきゃ でなくなる	石岡 1	C S	羽鳥 圭
入選	きれいな水 きたない水 君はどうかわいいかな？	石岡 1	C S	〃
入選	みどりはきれいだから（スカウト）はみどりをまもります みんないっしょにどうですか？	石岡 1	BVS	羽鳥 希
入選	ピーバーは いつもポッケにティッシュ・ハンカチ ごみふくろ	石岡 1	BVS	〃
入選	自然破壊 みんなの努力で かいけつだ!!	石岡 1	B S	矢口 潤一
入選	きれいにしたい空気 のみたい水 そんな地球に住みたい	石岡 1	B S	玉川 繁孝
入選	地球を 大切に思う 環境を作ろう	石岡 1	B S	沼田 旭人
入選	自然と人間は 共存 共栄 未来のため 今できることを・・・	石岡 1	B S	山崎 裕介
入選	自然破壊 ボーイスカウトで 止めようよ	石岡 1	B S	中根 正人
入選	グリーンマークで樹木を ふやそう	石岡 2	B S	野口 拓弥
入選	海は 魚たちの家 だから海を大切にしよう	石岡 2	B S	〃
入選	紙の無駄使いで 森から木を減らすな	石岡 2	B S	坂本 佳謙
入選	紙の無駄使いは 森の緑の無駄使い	石岀 2	B S	〃
入選	その木一本が 地球を守っている	石岡 2	B S	市川 墓
入選	車社会の忘れ物 汚した空気と 排気ガス	石岡 2	B S	〃
入選	微生物も 環境保護の 仕事人	石岡 2	B S	堤 友浩
入選	地球は あなたのゴミ箱じゃない	石岡 2	B S	〃
入選	環境保護は 見えないところの大掃除	石岡 2	B S	〃
入選	リサイクルでゴミを減らそう	石岡 2	B S	久保田勇貴
入選	リサイクルで 資源を 有効に利用しよう	石岡 2	B S	〃
入選	自転車、歩行は、身近なエネルギー節約	石岡 2	B S	〃
入選	ゴミを出さない・燃やさない・捨てる 『3しない運動』で地球を守ろう	石岡 2	B S	糸川 真吾
入選	ゴミのポイ棄ては 地球の寿命を 縮めます	石岡 2	B S	〃
入選	リサイクル！ 地球の明日は君の努力から始まります	石岡 2	B S	〃
入選	環境と共に歩む 明るい未来	つくば1	団	柏原 繁
入選	一人の心がけ 明るい未来の 地球に生きる	つくば1	指導者	柏原 公子
入選	深呼吸 できる地球に 90！90！90！	つくば1	BVS	柏原 弥恵
入選	私はすべての生活（家庭、社会）に於いて無駄がない様に 心がけ、資源節約に努めます	神栖 1	V S	山口 吉彦
入選	『来た時よりも美しく！』をモットーに自然と付き合います	神栖 1	V S	高橋 靖雄

富士スカウト紹介

平成11年度茨城県連盟年次総会にて富士章の伝達が行われました。

日立1団ベンチャー隊 平澤 哲二君
(隊長石本正樹)

左は年次総会にて「おきて」の唱和をした
水戸1団ボーイ隊山口 渉君



(財)ボーイスカウト茨城県連盟維持財団報告

平成11年度事業計画

1. 会議

- 理事会 (5月・2月)
- 各地区財政委員懇談会 (6月)
- 各団委員長懇談会 (11月)

2. 維持会員の募集

- ボーイスカウト茨城県連盟創立50周年記念 (平成13年) 事業協力の為の維持会員の募集
- 維持会員 200□ 600,000円

- 法人維持会員 40□ 400,000円

- 特別維持会員 2,000,000円

3. 助成事業

- ボーイスカウト茨城県連盟へ 500,000円

- ボーイスカウト茨城県連盟創立50周年記念事業積立金

500,000円

4. 会員の公報活動

公報紙、カレンダーの配布

平成11年度財団法人ボーイスカウト茨城県連盟維持財団予算書

(平成11年4月1日より平成12年3月31日まで)

収入の部

単位：円

科 目		平成11年度 予 算 額	平成10年度 予 算 額	比 較 増 減
大 科 目	中 科 目			
基本財産運用収入		150,000	150,000	0
	基本財産運用収入	150,000	150,000	0
運用財産収入		5,000	5,000	0
	運用財産利息収入	5,000	5,000	0
寄付金収入		3,000,000	2,500,000	500,000
	寄付金収入	3,000,000	2,500,000	500,000
当期収入合計(A)		3,155,000	2,655,000	500,000
前期繰越収支差額		1,500,000	1,000,000	500,000
収入合計(B)		4,655,000	3,655,000	1,000,000

支出の部

単位：円

科 目	平成11年度 予 算 額	平成10年度 予 算 額	比 較 増 減
大 科 目	中 科 目		
事 業 費	1,150,000	650,000	500,000
	助 成 金 支 出	1,000,000	500,000
	旅 費 交 通 費	20,000	20,000
	通 信 運 搬 費	50,000	50,000
	消 耗 品 費	20,000	20,000
	印 刷 製 本 費	50,000	50,000
	雜 費	10,000	10,000
管 理 費	310,000	310,000	0
	会 議 費	20,000	20,000
	旅 費 交 通 費	10,000	10,000
	通 信 運 搬 費	10,000	10,000
	消 耗 品 費	10,000	10,000
	印 刷 製 本 費	10,000	10,000
	諸 謝 費	240,000	240,000
	雜 費	10,000	10,000
指 定 預 金 支 出	2,000,000	2,000,000	0
	基 本 財 產 預 金	2,000,000	2,000,000
予 備 費	150,000	150,000	0
当 期 支 出 合 計(C)	3,610,000	3,110,000	-500,000
当 期 収 支 差 額 (A)-(C)	△455,000	△455,000	
次 期 繰 越 収 支 差 額 (B)-(C)	1,045,000	545,000	

平成10年度事業報告

1. 会議(2回)

◎理事会

第1回 平成10年5月12日 会場 県立青少年会館

(1)平成9年度事業並びに決算報告について

(2)理事の1部予選について

第2回 平成11年3月23日 会場 県立青少年会館

(1)平成11年度事業計画及び予算案の審議

(2)その他

◎各団委員長懇談会

平成10年度11月22日 会場 県立青少年会館

(1)維持会員の募集について

(2)財団の現況について

2. 維持会員募集現況

◎維持会員

年 度	人 数	口 数	金 額	本 年 度 納 入 者			本 年 度 納 入 者			備 考
				人 数	口 数	金 額	人 数	口 数	金 額	
前年度末	92	142	426,000	47	79	237,000	47	63	189,000	
本 年 度	93	141	423,000	56	116	348,000	37	37	111,000	

◎法人維持会員

年 度	人 数	口 数	金 額	本 年 度 納 入 者			本 年 度 納 入 者			備 考
				人 数	口 数	金 額	人 数	口 数	金 額	
前年度末	6	17	170,000	4	15	150,000	2	2	20,000	
本 年 度	6	17	170,000	3	10	100,000	3	7	70,000	

◎特別維持会員

関 正夫 2,000,000円

成瀬うめ 1,000,000円

那珂3団 100,000円

バザー収益金105,206円

3. 助成事業

ボーイスカウト茨城県連盟へ 605,206円

4. 会員への広報活動

- カレンダーの配布
- スカウティング茨城の配布
- 会員名簿の配布

平成10年度財団法人ボーイスカウト茨城県連盟維持財団決算報告書

(平成10年4月1日より平成11年3月31日まで)

収入の部

単位：円

科 目	大 科 目	中 科 目	平成10年 度 予 算 額	平成10年 度 決 算 額	比 較 増 減
基本財産運用収入			150,000	131,028	△18,972
	基本財産利息収入		150,000	131,028	△18,972
運用財産収入			5,000	2,658	△ 2,342
	運用財産利息収入		5,000	2,658	△ 2,342
寄付金収入			2,500,000	3,653,206	1,153,206
	寄付金収入		2,500,000	3,653,206	1,153,206
当期収入合計(A)			2,655,000	3,786,892	1,131,892
前期繰越収支差額			1,000,000	3,582,857	2,582,857
収入合計(B)			3,655,000	7,369,749	3,714,749

支出の部

単位：円

科 大 科 目	目 中 科 目	平成10年度 予 算 額	平成10年度 決 算 額	比 較 増 減
事 業 費		650,000	678,962	28,962
	助 成 金 支 出	500,000	605,206	105,206
	旅 費 交 通 費	20,000	0	△20,000
	通 信 運 搬 費	50,000	35,330	△14,670
	消 耗 品 費	20,000	914	△19,086
	印 刷 製 本 費	50,000	37,512	△12,488
	雜 費	10,000	0	△10,000
管 理 費		310,000	211,355	△98,645
	会 議 費	20,000	7,360	△12,640
	旅 費 交 通 費	10,000	0	△10,000
	通 信 運 搬 費	10,000	10,000	0
	消 耗 品 費	10,000	0	△10,000
	印 刷 製 本 費	10,000	0	△10,000
	諸 謝 費	240,000	180,000	△60,000
	雜 費	10,000	13,995	3,995
指 定 預 金 支 出		2,000,000	3,000,000	1,000,000
	基 本 財 產 預 金	2,000,000	3,000,000	1,000,000
予 備 費		150,000	0	△150,000
当 期 支 出 合 計 (C)		3,110,000	3,890,317	780,317
当 期 支 出 差 額 (A)-(C)		△455,000	△103,425	351,575
次 期 繰 越 収 支 差 額 (B)-(C)		545,000	3,479,432	2,934,432

財 产 目 录

平成11年3月31日現在

単位：円

科 I . 資 産 の 部	目	金	額
I . 1 . 定 期 預 金			
常 常 埼 茨 関 水 石 戸 岡 信 用 銀 行 銀 行 合 合 元	陽 城 東 信 用 銀 行 行 本 本 本 本 町 町 町 町	18,000,000 2,000,000 3,500,000 1,000,000 2,500,000 3,000,000	30,000,000
2 . 債 權			
大 大 常 常 茨 茨 陽 陽 信 用 銀 行 行 行 行 本 本 本 本 町 町 町 町	和 通 銀 証 預 権 水 戸 水 戸 水 戸 水 戸	1,000,000	1,000,000
3 . 証 券 金			
普 通 常 常 茨 茨 陽 陽 信 用 銀 行 行 行 行 本 本 本 本 町 町 町 町	152,614 2,172,695 295,977 286,649 78,575 70,413 32,379 225,000	3,314,302	
4 . 郵 便 財 金			
宇 宇 宮 宮 邮 宅 财 金 便 替 口 座 一	165,130	165,130	
資 产 合 计			34,479,432
II . 正 味 財 产			
1 . 基 本 財 产			31,000,000
2 . 用 財 产			3,479,432
正 味 財 产 合 计			34,479,432

貸 借 対 照 表

平成11年3月31日現在

単位：円

科 目	金 額
I . 資 産 の 部	
1 . 流 動 資 産	
普通預金	3,314,302
郵便振替貯金	165,130
流動資産合計	3,479,432
2 . 固 定 資 産	
(基 本 財 産)	
定期預金	30,000,000
公社債	1,000,000
基本財産合計	31,000,000
固定資産合計	31,000,000
資 産 合 計	34,479,432
II . 正味財産の部	
正味財産	34,479,432
(うち基本金)	(31,000,000)
(うち当期正味財産増加額)	(3,479,432)
正味財産合計	34,479,432

(注記) 基本財産の増加額及びその残高は次の通りである。

科 目	前 期 末 残 高	当 期 増 加 額	当 期 末 残 高
定期預金	27,000,000	3,000,000	30,000,000
公社債	1,000,000		1,000,000
合 計 (基 本 金)	28,000,000	3,000,000	31,000,000

B S 県連維持財団役員住所録

No.	役職	氏名	〒	住所	電話
1	理事長	清水 武男	310-0044	水戸市西原町2-7-40	029-251-5116
2	副理事長	後藤 武一郎	310-0851	水戸市千波長2856	029-241-3205
3	〃	亀山 利彦	310-0022	水戸市梅香1-4-16	029-224-2233
4	常務理事	橋本 千代寿	311-3436	新治郡玉里村上玉里608-1	02995-8-3221
5	〃	坂本 秀雄	311-4145	水戸市双葉台4-3-7	029-253-3987
6	理事	三代 半二郎	319-1221	日立市大みか町1-9-21	0294-52-2108
7	〃	関 正夫	308-0842	下館市一本松1755-2	0296-44-3636
8	〃	川又 光男	310-0068	水戸市根本町2-745-1	029-231-5836
9	〃	酒地 徳男	316-1222	日立市久慈町7-7-2	0294-52-2718
10	〃	宮本 恵一郎	315-0025	石岡市泉町6-4	02992-2-2318
11	〃	百瀬 恒男	300-0815	土浦市中高津2-6-5	0298-23-2488
12	〃	小野 勝久	316-0002	日立市桜川町3-4-17	0294-33-0366
13	〃	田山 四郎	311-3122	東茨城郡茨城町上石崎2331	0292-93-7207
14	〃	安井 茂一郎	306-0433	猿島郡坂井町1702-1	0280-87-0022
15	〃	武浪 翔一	310-0033	水戸市常磐町1-2-43	029-221-0748
16	〃	刈部 操	312-0024	ひたちなか市勝倉2681-1	029-272-3987
17	〃	清水 清	319-1112	那珂郡東海村村松2469-6	029-282-4555
18	幹事	柴沼 清	309-1635	笠間市稻田3525	02967-4-2426
19	〃	加部東 正廣	311-1311	東茨城郡大洗町大貴61	029-231-3191

広報委員会ホームページ開設

広報委員会では1999年4月にホームページの開設をしました。もうご覧になった方も多いと思いますが、まだ充実していません。ボイスカウト茨城県連盟の皆様からのご意見ご感想、情報など、どしどしあ寄せください。みんなに親しまれるホームページを作りたいと考えていますのでSCOUTING茨城同様よろしくね。

ホームページURL <http://www.d2.dion.ne.jp/~bs18raki>

メールアドレス bs18raki@d2.dion.ne.jp

コ ミ ッ シ ョ ナ 一 通 信

夏 季 キ ャ ン プ に 向 け て

県副コミッショナー 八 木 健 二

この5月の連休に、ドライブがてら夏季キャンプの下見に行ったリーダーは、いませんか。相当数のリーダーが行かれたのではないしょうか。日頃の訓練の集大成が夏季キャンプです。スカウトたちに楽しい思い出を残してあげたいと、真剣に取りくんでいることでしょう。夏季キャンプと言えば、徳島で起きたピーバースカウトの水難事故があります。すでに、今年の「指導者の集い」において、勉強会をいたしましたので、ご承知のリーダーの方はたくさんいると思います。また、日本連盟発行の「スカウティング誌」6月号に、「事故に学ぶ」という副題で詳しく記載されていますが、この事故を要約すると次のようになります。

平成8年7月に、徳島県のピーバースカウト2名が、スカウト活動中（水遊び）の事故で水死しました。亡くなった2人は、兄弟でした。事故の現場は、山あいの静かな清流で、水の澄んだ浅瀬でした。こんな場所で事故が発生するとは信じられないと、関係者は述べています。事前準備として、20日前に下見をしました。川の中に入り、棒で水深を確認しました。水深は、20～50cmと浅く、周囲も平でした。その後、保護者を集めてキャンプの説明会を行いました。

キャンプ当日は、下見した場所の水位が下がり、干上がっていたため少し下流の場所を水遊びの場所として選びました。棒で水の深さを確かめたところ30～40

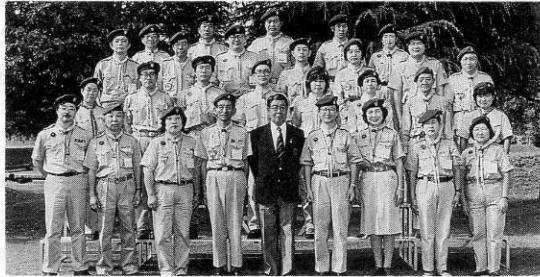
cmでした。水遊びをするに当たってリーダーは、「危険なそびはするな」「この場所から離れるな」と注意をしました。リーダーと保護者で監視をしていましたが、ちょっと目を離した隙に（5分くらい）痛ましい事故が起きました。指定した場所より8mくらい離れた場所でした。

リーダー達は、業務上過失致死罪に問われましたが、弁護士（大阪連盟コミッショナー）の努力の結果、刑事事件については、不起訴との結論が出ました。また損害賠償請求事件は、示談という形で決着し、ボイ・スカウト日本連盟加入の損害賠償責任保険から損害賠償額の全額が支払われました。リーダー達が損害賠償についての金額的負担を負うことは避けられました。

たとえ、ボランティアとしてボイスカウト活動に携わっていても、リーダーの責任は問われます。詳細な活動計画書を作る。十分な下見をすることは、いまさら言うまでもありません。忙しい事を理由に手を抜くケースはありませんか。傷害保険、損害保険は大丈夫ですか。いまならまだ、間に合います。

「スカウティング誌」5、6月号に損害責任保険について詳しく記述してありますので是非、一読して下さい。慣れが一番怖いと思います。楽しいキャンプをするために用意周到、そなえよつねに、で事前準備を進めてください。

ウ ッ ド バ ッ ジ 研 修 所



ウッドバッジ研修所ビーバー課程茨城第7期
土浦青少年の家 H10.10.31～11.3



ウッドバッジ研修所 ボーイ課程茨城第24期
土浦青少年の家 H10.10.31～11.3

編集後記

今回は2地区の韓国訪問を取り上げてみました。韓国松破地区との日本連盟初の「姉妹地区協定」を結んでの永続的な交流すばらしいですね。広報委員会も韓国に行きたかった、現地で取材がしたかった。でも取材よりキムチとブルゴギが得意かもね。